

*Luxman*

VACUUM TUBE STEREO POWER AMPLIFIER

MQ-88u

*Owner's Manual*



このたびは、ラックスマンの真空管ステレオパワーアンプ MQ-88u をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NHKがラジオの本放送を開始した1925年、錦水堂ラジオ部として創業されたラックスマンは、80余年にわたって数多くの製品をオーディオファンや音楽ファンに届けてまいりました。その間、いつの時代にあってもオーディオと音楽を愛する人たちの熱い心は変わりませんでした。

音楽に込められたアーティストの情念を余さず忠実に再現する、そのときの感動の深さと機器への愛着の深さこそがオーディオにとっての最高の価値であると私たちは考えます。

縁あってラックスマン製品をお選びいただきましたことは、オーディオと音楽に対して私たちと同じ情熱と価値観を共有できることであると、心から嬉しく思っております。

本機を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこのオーナーズマニュアルをよくお読みください。それによって本機の性能が十分に発揮され、最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただくことができます。お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

# 目次

使用上の注意	1
本機の特徴	2
各部の名称と用途	4
接続方法	6
ブロックダイアグラム	8
規格	9
修理に出される前に	10
アフターサービスと品質保証について	11

## アンプの置き場所について

換気や放熱が十分行われる場所に設置してください。とくに、直射日光の当たる場所、ストーブのすぐそばなど高温になる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などに設置すると、放熱がスムーズでも、故障の原因になることがあります。このような場所への設置は避けてください。

## 通風孔について

本機は、真空管を使用した発熱の多いアンプのため、天面・底板の通風孔はふさがないでください。なお、ラックなどへ設置する場合は、十分な空間を取り、扉は開放して使用し、他の機器を上積み重ねたり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。

## 併用機器との接続時の注意

本機に CD/DVD プレーヤー、チューナーなどの入力機器を接続するときには、本機をはじめ、すべての併用機器の電源スイッチを必ず切ってください。スピーカーを破損するほどのノイズが発生したり、場合によっては故障の原因になったりすることがあります。

本機の各入力端子に差し込むピンプラグは、しっかりと差し込んでください。アース側が浮いているとハムなどのノイズが発生し、S/N 比悪化の原因になります。

## スピーカー接続時のご注意

スピーカー・システムを接続するときには、本機のスピーカー端子やスピーカーの入力端子の部分で、⊕ ⊖ 間がショート（短絡）することのないよう十分に注意してください。ショートしたままアンプに信号が加わると出力回路に大電流が流れ、場合によっては故障の原因になります。

## 電源オン後すぐに音は出ません

本機は真空管アンプのため、真空管ヒーターが暖まるまで、すぐに音は出ません。

電源スイッチを入れて1分以上置いてから音楽をお楽しみください。また音量ボリュームは必ず小さく絞っておき、スピーカーから音が出はじめてから適度なレベルにセットしてください。

## 修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターへご依頼ください。

## お手入れについて

お手入れは、市販のクリーニングクロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。なお、ベンジン、シンナーなどの溶剤は、外観を損ねるため使用しないでください。

## 安全上のご注意

### 注意



本機は重いので、開梱や持ち運び、設置の際は充分にご注意ください。



本機は真空管を使用したアンプです。電源の入った状態では本体がかなり熱くなりますので、手で触れたりすることのないようお気をつけください。また小さなお子様や放し飼いにしたペットのいる場所でのご使用は安全のためお控えください。

# 本機の特徴

## オール真空管設計

すべての増幅回路を真空管(ECC83×2本、ECC82×2本、KT88×4本)によって構成。

## 必要十分な定格出力

様々なスピーカー環境で必要十分な音量を可能にする25W + 25Wの定格出力(6Ω負荷時)。

## 出力管 KT88

出力管には力強く厚みのある音色に定評の斯洛バキア JJ社製 KT88 を選別しプッシュプル構成で採用。

## 初段の平行化

初段アンプを平行化し高S/N、低インピーダンス伝送でドライバー段に直結接続。

## 3極管接続

実績のあるムラード型回路(ドライバー段)と出力管KT88の3極管接続を採用。

## 往年のパーツレイアウト

往年の銘機MQ60をデザインモチーフにしたパーツレイアウトを採用。

## モノコックシャーシ構造

オーソドックスで実績のある高剛性モノコック・シャーシ構造。

## OY15型出力トランス

オリジナル形状で復刻したアルミ・ダイキャストケース入りOY15型出力トランスを採用。

## 大容量電源トランス

粘り強い音質を実現するEIタイプの大容量電源トランスを搭載。

## オリジナル・ブロックコンデンサー

安定したパワー供給を実現する大型オリジナル・ブロックコンデンサーを装着。

## 2 系統入力

入力端子は音量調節が可能なバリエブル入力とボリュームをバイパスするダイレクト入力の2系統を用意。

## 大型スピーカー端子

極太のスピーカーケーブルの接続も可能な大型スピーカー端子を装着。

## 真空管ボンネット

真空管や他の大型パーツを保護する網型のボンネットカバーを標準で付属。

## カスタムパーツ

ラックスマン独自の高音質カスタムパーツをふんだんに採用。

## 幅広ピッチの RCA 端子

大型の RCA ケーブルの接続も可能な幅広ピッチの RCA 端子を装着。

## 電源ケーブル (JPA-10000)

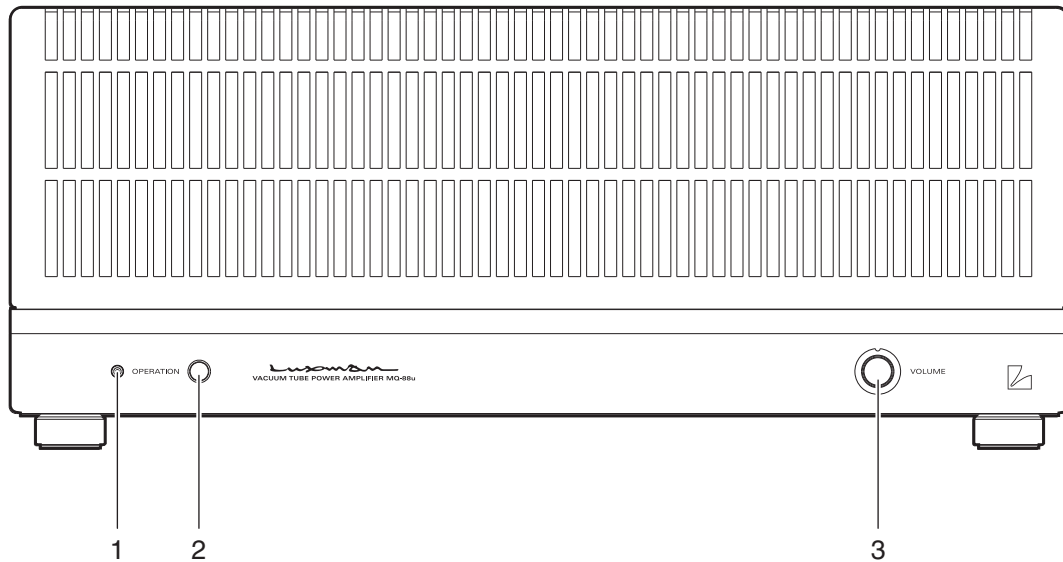
OFC 極太線ノンツイスト構造のラックスマン純正電源ケーブル JPA-10000 を付属。

## 高信頼設計

真空管の動作条件に余裕を持たせた超寿命、高信頼性設計を採用。

# 各部の名称と用途

## 本体正面



### 1. 電源インジケータ (OPERATION)

電源オンと同時にこのパイロットランプが橙色に点灯します。

### 2. 電源スイッチ (OPERATION)

電源をオン/オフするスイッチです。  
配線、接続時には必ずこのスイッチをオフにしてください。オフにしてから、再度オンにするときは1分以上時間をおいてください。

---

電源オフ時、しばらくの間 OPERATION インジケータが点灯したままとなりますが故障ではありません。

---

### 3. ボリューム・コントロール (VOLUME)

CD プレーヤーなどのソース機器を、リアパネルのバリエブル入力端子 (VARIABLE) に接続したときに、本機への入力レベルを調節するためのボリュームです。ダイレクト入力端子 (DIRECT) に接続しているときは、このボリュームを経由しませんので、音量は変化しません。

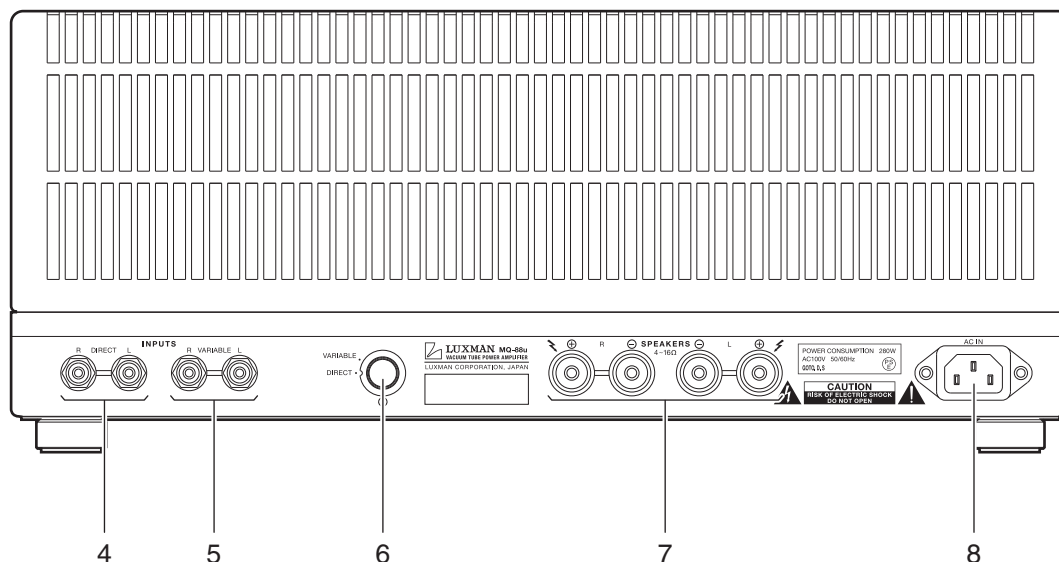
---

ダイレクト入力端子 (DIRECT) 接続時は、接続されている機器のボリューム位置にご注意ください。

---



## 本体後面



### 4. ダイレクト入力端子 (DIRECT)

コントロールアンプなどのソース機器を接続するための入力端子です。

この入力端子に接続したときは、ボリューム回路を経由しませんので、フロントパネルのボリューム (VOLUME) を操作しても音量は変わりません。

### 5. バリャブル入力端子 (VARIABLE)

CD プレーヤーなどのソース機器を接続するための入力端子です。

この入力端子に接続したときは、フロントパネルのボリューム (VOLUME) で音量を調節することができます。

出力インピーダンスの高いコントロールアンプを本機と組み合わせて使用する時には、不必要な高域の減衰を避けるために、できるだけ短いピンケーブルをお使いになることをおすすめします。

### 6. 入力切替スイッチ (DIRECT、VARIABLE)

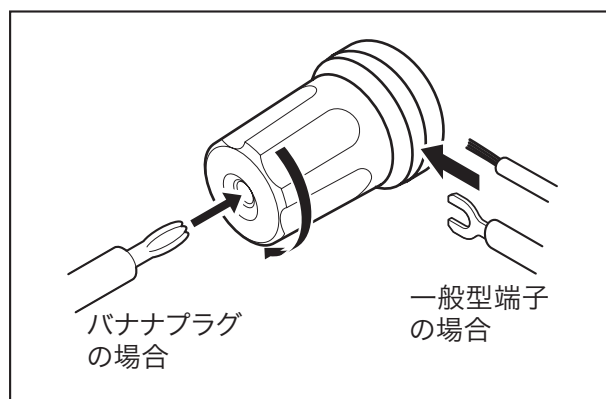
ダイレクト入力端子 (DIRECT) とバリャブル入力端子 (VARIABLE) を切り替えるためのスイッチです。このスイッチを操作して、再生したい機器の接続されている端子名を選択します。

この切替スイッチを操作する時は、必ず電源をオフにしてから行ってください。

オンのまま操作しますと大きなノイズが出る場合があります。

### 7. スピーカー端子 (SPEAKERS)

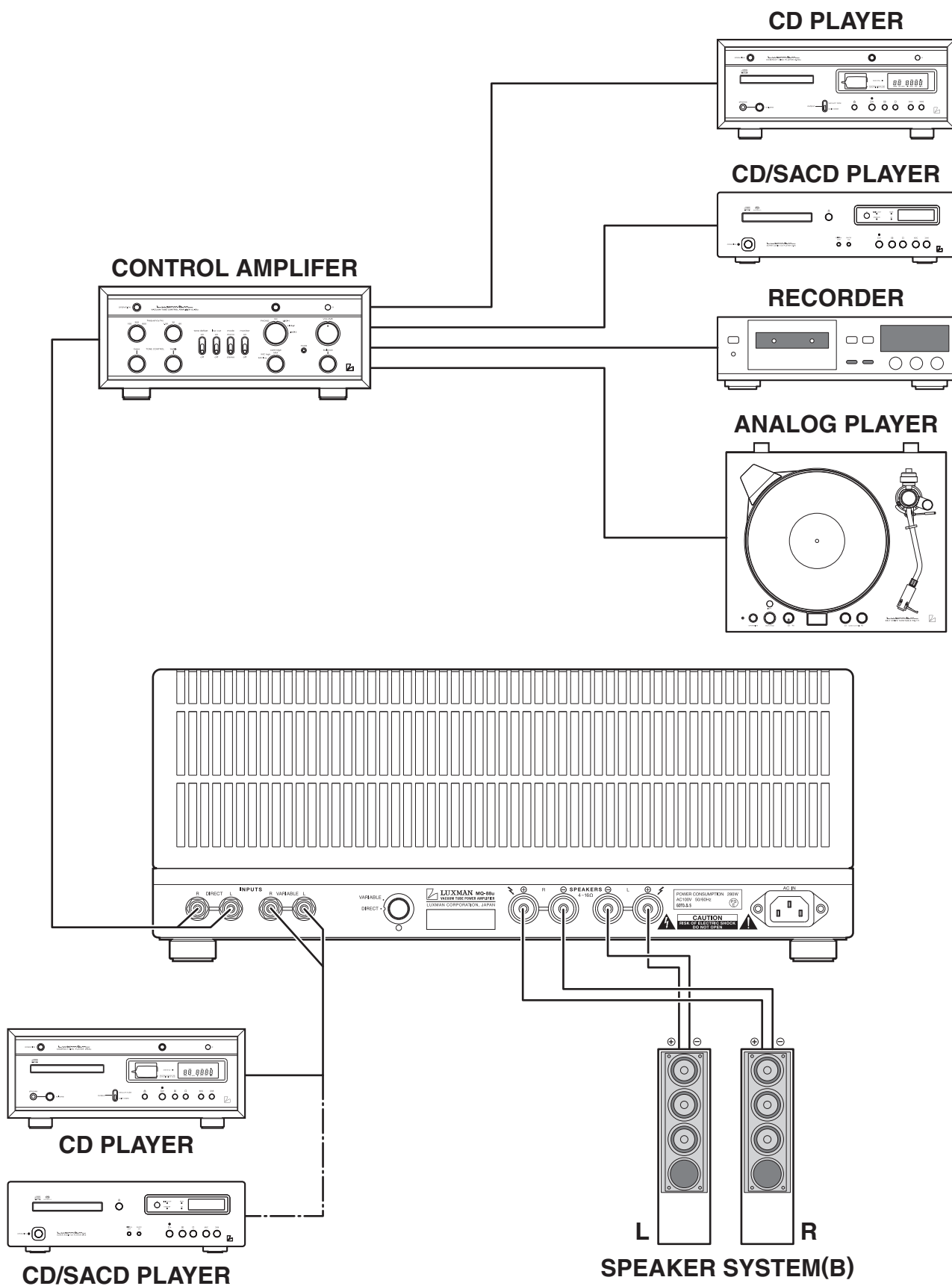
スピーカー・システムを接続するための出力端子です。L 側には左スピーカーの端子を、R 側には右スピーカーの端子を、極性 (⊕、⊖) を合わせて接続してください。接続するスピーカーのインピーダンスは 4 ~ 16 Ω の範囲でご使用ください。



### 8. AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブルを接続します。電源は AC100V 家庭用コンセントを使用してください。

# 接続方法



## 接続する前に

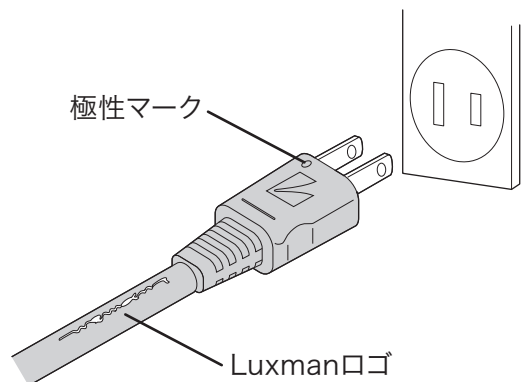
他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック部（穴が3つある方）を本機の AC インレットに接続してください。

接続するときは、思わぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源と併用機器の電源をすべてオフにしてください。

## 電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、AC プラグをリスニングルームなどにある AC100V のコンセントに差し込んでください。ケーブル本体に印字された Luxman ロゴが見えるように（極性マークがコンセントに向かって左側にあるように）AC プラグを差し込むと、電源極性が正しく設定されます。

一般的に AC コンセントは、向かって左側の若干長い穴が接地用端子（W 表記）になっています。



## CD プレーヤー、コントロールアンプなどの接続

ソース機器の出力端子と本機の入力端子間を L、R2 本のピンケーブルで接続してください。

CD プレーヤーなど、音量が調節されていないソース機器を使用する場合は、バリエブル入力端子（VARIABLE）に接続します。コントロールアンプなど、音量が調節されているソース機器を使用する場合は、ダイレクト入力端子（DIRECT）に接続します。

それぞれ接続した端子に合わせて入力切替スイッチ（DIRECT、VARIABLE）を切り替えてください。

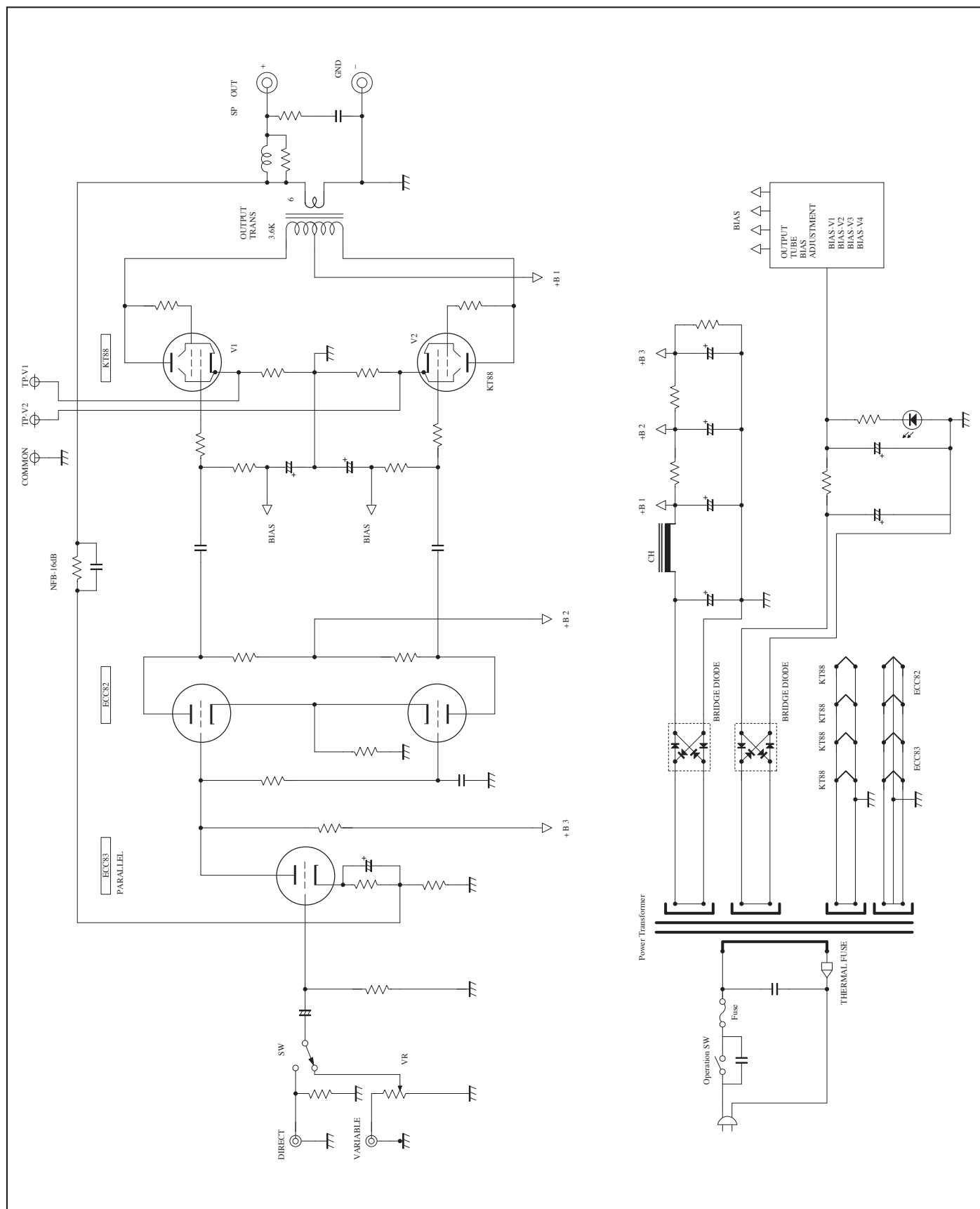
## スピーカーの接続

本機の LEFT SPEAKER 端子に左チャンネル用のスピーカーを、RIGHT SPEAKER 端子に右チャンネル用のスピーカーを接続してください。

スピーカーシステムの ⊕ 端子を本機のスピーカー端子の赤（⊕ 側）端子に、スピーカーシステムの ⊖ 端子を本機のスピーカー端子の黒（⊖ 側）端子に、確実に接続してください。

このとき、左右スピーカーシステムの（どちらか一方の）⊕ 端子、⊖ 端子を逆に接続すると、左右のスピーカーシステムから再生される信号の位相が逆になり、低音が減少したり、音の定位が悪くなるなど、正常なステレオ再生ができなくなりますので、十分に注意してください。

# ブロックダイアグラム



# 規格

  
VACUUM TUBE STEREO POWER AMPLIFIER MQ-88u

連続実効出力	25W + 25W (6Ω) 20W + 20W (4Ω, 8Ω)
全高調波歪率	0.15% (1kHz, 6Ω, 1W) 0.5% (20Hz ~ 20kHz, 6Ω, 1W)
入力感度	790mV / 25W
入力インピーダンス	100kΩ
S / N 比	105dB (IHF-A 補正、入力ショート)
周波数特性	20Hz ~ 20kHz (+ 0, -1.0dB) 10Hz ~ 65kHz (+ 0, -3.0dB)
入力	ライン：ダイレクト 1 系統、バリアブル 1 系統
出力	大型スピーカー端子 1 系統
付属機能	[フロントパネル] 電源スイッチ、音量ボリューム [リアパネル] 入力端子、入力切替スイッチ、スピーカー端子、 AC インレット
回路方式	ムラード方式
使用真空管	ECC83 × 2 本、ECC82 × 2 本、KT88 × 4 本
付属品	・電源ケーブル (JPA-10000) ・端子保護キャップ ・取扱説明書 ・保証登録書 ・安全上のご注意
電源	AC 100V (50/60Hz)
消費電力	280W (電気用品安全法による規定) 150W (無信号時)
最大外形寸法	440 (W) × 184 (H) × 230 (D) mm
重量	15.8kg (本体)

※ 規格および外観は予告なく変更することがあります。

# 修理に出される前に

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記表、および併用機器の取扱説明書をご覧のうえ、ひと通り確認してください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービスセンターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくとも点検代、出張費などを戴くことがあります。

症 状	原 因	対 策
電源スイッチを押しても電源が入らない。	・電源プラグがコンセントから外れているか、確実に差し込まれていない。	・電源プラグをコンセントへ確実に差し込む。
	・電源プラグが AC インレットから外れているか、確実に差し込まれていない。	・電源プラグを AC インレットへ確実に差し込む。
電源は入るが音が出ない。 (左右チャンネル共)	・ボリュームが最小の位置になっている。	・ボリュームを右に回して音量を調節する。
	・入力切替スイッチが再生するソースの位置にセットされていない。	・入力切替スイッチを再生するソースの位置にセットする。
	・接続ケーブルの接続が不完全。	・接続ケーブルを確実に接続する。
	・再生機器の出力レベルが最小になっている。	・出力レベルを調節する。
片側だけ音が出ない。	・接続ケーブルの片側だけが接続されていない。	・接続を確実に行う。
ハム音（ブーン、またはジーというノイズ）が出る。	・ピンプラグ・ケーブルのアース側が端子に接触していない。	・ピンプラグ・ケーブルのアース側が接続するように確実に接続する。
	・接続ケーブルと電源ケーブルが接近しすぎている。	・接続ケーブルと電源ケーブルを離す。
	・他機器の電源トランスから誘導をノイズを受けている。	・他機器から離して設置する。

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービスセンターまたはお求めの専門店までご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理をさせていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることもあります。ご容赦ください。

ラックスマン製品の保証期間は購入日より起算して2年間（ただし、真空管などの消耗品は1年間）です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無料修理させていただきます。保証登録書は、本機のパッキングケース内に入っていますので、お買い上げの販売店で、販売年月日、店名の記入捺印を受けた上、弊社に送付してください。折り返し、保証書を弊社よりお送りいたします。保証期間内の修理お申しつけの節は必ず弊社発行の保証書を添えてください。保証期間外、保証書がない場合の修理については実費でお引き受けします。

